

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	音別地区新景観選定事業	釧路市	1,372,000	1,372,000	総事業費1,728,000円

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	音別地区新景観選定事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所		釧路市音別町尺別 ほか7件		
交付金事業の概要		音別地域の新たな魅力を発掘し、市内外へ広くPRすることを目的に平成27年12月「音別新八景」が選定されたことから、電源立地地域対策交付金を活用し、選定地8箇所に案内標識を設置するものです。		
総事業費		1,728,000	交付金充当額	1,372,000
			うち文部科学省分	
			うち経済産業省分	1,372,000
交付金事業の成果目標		音別地域の新たな魅力発掘、PR事業の一環として、「音別新八景」選定地に案内標識を設置することにより、音別地域を訪れる観光客や釧路市民を含め幅広いPRが可能となるほか、音別地域住民が郷土に愛着を持ち、自身の住む町の良さを再認識に繋がるものであります。今後、音別新八景のPRを積極的に行うことで、更なる交流人口の拡大を目指し、観光産業の振興に繋げ、地域の活性化を図るとともに、発電用施設設置・運転に対する地域理解を促進します。		
交付金事業の成果指標		音別新八景選定地は、パンフレットやポスター、市ホームページ等を活用しPRを行っていますが、選定地は自然そのままの所が多く、且つ、管理人を配した施設ではないため、現地における来訪者への説明手段がありません。 このことから、各通信媒体での周知に加えて、現地に案内標識を設置することにより、幅広いPRを行うことができるようになることから、地域における町の良さを再認識や更なる交流人口(H23～27下期入込客数平均860人)の拡大に繋がるものであります。(H28下期入込客数の目標:900人)		
交付金事業の成果及び評価		音別新八景を紹介する案内標識の設置により、地域住民はもとより町内外へ幅広いPRが実現したことに加え、選定地の確認が容易となったことから、音別新八景に関する多数の問い合わせがあり、また、地域においても町の良さを再認識し、愛郷心の高揚につながったものと評価しています。 また、地域住民8名参加のもと選定地周遊案内の実施や、釧路市長期滞在者(6名参加)による選定地巡りも行われるなど地域の魅力は確実に発信されております。 天候の影響もあり、H28下期入り込み客数は約800人でしたが、今後も継続した周知取組を行っていきたいと考えております。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方
看板設置工費		指名競争入札		瀬戸建設株式会社
				1,728,000
		計		
				1,728,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度
				該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持 補修又は維持運営等措置	広報活動車購入事業	釧路市	1,492,560	1,492,560	総事業費1,554,660円

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	広報活動車購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所		釧路市音別町中園		
交付金事業の概要	音別地域の住民に対し、災害時の避難行動を促す広報活動を迅速かつ適切に行うため、電源立地地域対策交付金を活用し広報活動車(1台)を整備します。 (小型貨物車(バンタイプ)、定員5名、ガソリン車(4WD、AT車)、1600CC、5ドアほか付属品)			
総事業費	1,554,660	交付金充当額	1,492,560	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	1,492,560	
交付金事業の成果目標	<p>当該地域は、広域な行政面積を持つ上、津波発生時には広域にわたり浸水する可能性があることから、災害発生時における地域住民への迅速な広報活動が、市民生活の安全安心の確保のために必要です。</p> <p>これまで、このような災害発生時の場面を含め、様々な媒体を用いて広報活動を行ってきましたが、広域な行政面積を持つことから、場合によって、防災無線も活用しながら広報に努めてきましたが、今後より一層迅速かつ機動力確保のためには、広報活動車両による周知活動が必要です。</p> <p>このため本交付金を活用して、広報活動車両を整備することにより、市民生活の安全安心の確保に寄与することが期待され、ひいては発電用施設の設置や運転の円滑化のため、地域の理解を促進していきます。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>いつでも発生する可能性のある災害に対して、平時からの心構えを地域住民とともに共有していくことは、実際に発生した際の、避難行動の迅速さに大きく影響します。このことから、本交付金を活用して、広報活動車1台を整備することにより、①災害発生時の迅速な広報活動、②気象警報・注意報発令時等における現地確認や情報収集、パトロール、③平時における防災訓練や防災広報・パトロール等を行えるようにすることで、市民の安全安心に資する広報体制を構築します。(対象人口:音別地域約2,000人)</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により、広報活動車1台を整備でき、気象警報発令に伴う現地確認や情報収集、Jアラート訓練、その他気象注意報発令時での河川や海岸等のパトロールに使用するなど、何時発生するかわからない災害に対し、広報活動車の機動力を生かした「広報体制の構築」ができました。今後も引き続き、地域住民の安全・安心等に寄与していきます。(対象人口:音別地域約2,000人)</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	小型貨物車(バンタイプ)物件購入	指名競争入札	帯広日産自動車(株)釧路本部	1,501,200
	小型貨物車購入にかかる諸経費	随意契約(競争性なし)	帯広日産自動車(株)釧路本部	53,460
		計		1,554,660
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 該当なし		

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持 補修又は維持運営等措置	阿寒町多目的広場外野ネット購入事業	釧 路 市	476,000	476,000	総事業費524,880円

II. 事業評価個表

平成28年度

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	阿寒町多目的広場外野ネット購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所		釧路市阿寒町中央1丁目		
交付金事業の概要		阿寒町総合運動公園内にある多目的広場は、地域住民のスポーツ活動等の拠点として整備され、さらに平成27年度に芝生化へ整備したことによりサッカー等の大会を開催することが可能になりました。これらの競技や大会を安全に実施できるよう簡易式外野ロングネットを設置するものです。簡易式外野ロングネット6台(長さ20m×高さ1.2m、支柱6本、張りロープ2本、ペグ、ゴムハンマー、収納袋、日本製)		
総事業費		524,880	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	476,000 476,000
交付金事業の成果目標		阿寒町総合運動公園内にある多目的広場は、地域住民のスポーツ活動等の拠点として整備され、平成27年には芝生化をし、サッカー競技等の需要が高まってきているところです。しかしながら、競技や大会を実施するための設備が不十分のため、使用に支障をきたしている状況にあります。そのため、本交付金を活用し、簡易式外野ロングネットを設置することで、安全なスポーツ環境を整備し、地域住民の福祉の向上を図ります。		
交付金事業の成果指標		本交付金で簡易式外野ロングネットを整備することにより、高体連をはじめとするサッカー大会や利用団体の安全な環境を提供し、利用者の増を図ります。(H28目標利用者数約2,500人、平成27利用者数2320人)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金を活用した設備の導入により、昼間利用については、大会数31件、大会利用者数3,290人に達し、今年度の利用者は3,769人と目標を1,269人上回り、積極的な利用が見られました。今後も引き続き、釧路管内の数少ない天然芝のコートをPRし、利用者増と地域住民の福祉の向上を図っていく予定です。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
物品購入		随意契約(少額)	株式会社マルトやまもと	524,880
計				524,880
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
(備考) (1) 事業ごとに作成すること。		該当なし		

- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持 補修又は維持運営等措置	阿寒国際ツルセンター映像システム更新工 事	釧 路 市	1,578,000	1,578,000	総事業費1,596,240円

II. 事業評価個表

平成28年度

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	阿寒国際ツルセンター映像システム更新工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所		釧路市阿寒町上阿寒		
交付金事業の概要		平成8年にタンチョウの保護と調査研究及び教育普及を目的に建設されました阿寒国際ツルセンターにおいて、主要設備である映像機器が経年劣化により使用に支障をきたしていることから、本交付金を活用し、映像システムの更新を行います。(液晶プロジェクター、制御ユニットほか一式)		
総事業費		交付金充当額		1,578,000
		1,596,240	うち文部科学省分 うち経済産業省分	1,578,000
交付金事業の成果目標		阿寒国際ツルセンターは、まリモ国道に面した道の駅阿寒丹頂の里と一体となった観光施設として、地域住民はもとより、道内外や海外の観光客等幅広い層が来館する施設です。しかしながら、施設や設備の老朽化により機能に支障をきたしている状況にあります。そのため、本交付金を活用し、主要設備である映像システムを更新することにより、利用者に四季のタンチョウの映像を提供し、保護啓蒙活動の推進や地域の活性化を図るとともに、発電用施設の設置や運転の円滑化のため、地域の理解を促進していきます。		
交付金事業の成果指標		システム更新後は事業を広くPRし、利用者の利便性向上と利用者数増に努めます。(入館者数:約30,000人)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、設備の更新及び映像の再編集等を行い、利用者の利便性向上を図ることができました。映像に英語のテロップを挿入したことで、特に外国人観光客に好評です。入館者数については、鳥インフルエンザの影響もありましたが、前年比1,452人の増(入館者数:31,807人)となっています。今後も引き続き、施設のPRを行いながら、利用者増と地域活性化、発電用施設に対する理解促進等を図っていく予定です。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方
各種改修工事		随意契約(代替性なし)		株式会社エム・アイ・システム
		計		1,596,240
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
該当なし				

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持 補修又は維持運営等措置	阿寒町広報活動車購入事業	釧 路 市	1,371,070	1,371,070	総事業費1,470,600円

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	阿寒町広報活動車購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所		釧路市阿寒町中央1丁目		
交付金事業の概要		阿寒地域は雌阿寒岳などの活火山を抱えており、噴火などの自然災害対応等、市民生活の安心安全を確保することが課題となっています。これらを解決するため本交付金を活用し、広報活動車1台を新規配備するものです。(小型貨物車、1,300cc、オートマチック、2WD、5人乗り、ガソリンエンジンほか付属品)		
総事業費		1,470,600	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	1,371,000 1,371,000
交付金事業の成果目標		阿寒地域は広域な行政面積を持つ上、雌阿寒岳などの活火山を抱えていることから、災害発生時における地域住民への迅速な広報活動が、市民生活の安心安全の確保のために必要です。これまでこのような災害発生時の場面を含めた地域住民向けの広報活動は、広域な行政面積を持つため、場合により防災行政無線も活用しながら努めてきましたが、より一層迅速で機動力を持った広報活動を展開するために、広報活動車が必要です。そのため本交付金を活用し、広報活動車を整備することにより、市民生活の利便性の向上及び安全安心の確保、さらには地域住民の福祉の向上を図るとともに、発電用施設の設置や運転の円滑化のため、地域の理解を促進していき		
交付金事業の成果指標		いつでも発生する可能性のある災害に対して、平時からの心構えを地域住民とともに共有していくことが大切です。このことから、本交付金を活用して、広報活動車1台を整備し、①災害発生時の迅速な広報活動、②気象警報・注意報発令時等における現地確認や情報収集、パトロール、③平時における巡回、訓練、地域住民への広報活動や情報収集などを行えるようにすることで、市民の安全安心に寄与します。(対象人口:阿寒地域約4800人)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、広報活動車1台を整備し、防災・災害活動に対する広報体制を整備することができ、市民生活安全安心の確保等が図られたものと考えています。今後、平時における情報収集や広報活動、防災訓練、及び雌阿寒岳の火山活動にかかる現地確認や情報収集等に活用し、防災体制の維持に努めることで地域住民の安全・安心等に寄与していきます。(対象人口:阿寒地域約4800人)		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
物件購入		指名競争入札	トヨタカローラ釧路株式会社	1,425,600
物件購入にかかる諸経費		随意契約(競争性なし)	トヨタカローラ釧路株式会社	45,000
		計		1,470,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持 補修又は維持運営等措置	阿寒町道路パトロール車購入事業	釧路市	2,610,000	2,610,000	総事業費2,862,680円

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	阿寒町道路パトロール車購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所		釧路市阿寒町中央1丁目		
交付金事業の概要		阿寒地域における災害の未然防止や地域住民の安心安全な生活を確保し、快適な環境を提供するため、本交付金を活用して、市道の維持管理のための道路パトロール車1台を更新するものです。 (SUV車、2,000cc、オートマチック、4WD、5人乗り、ガソリンエンジン、特別仕様ほか付属品)		
総事業費		2,862,680	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	2,610,000 2,610,000
交付金事業の成果目標		広大な行政面積を持つ阿寒地域は災害などの出勤が多いため、道路パトロール車による巡回を行っています。現車両は平成7年度に購入し21年経過しているため、老朽化により業務に支障をきたしている状況です。そのため、本交付金を活用し道路パトロール車を更新することにより、災害の未然防止、道路異常の早期発見、また災害時や山道などでの緊急かつ迅速な対応が期待でき、地域住民の安心安全、福祉の向上を図が図られるとともに、発電用施設の設置や運転の円滑化のため、地域の理解を促進していきます。		
交付金事業の成果指標		道路パトロール車1台を更新し、災害の未然防止、道路異常の早期発見等のため、適切なパトロール(週3日程度)を実施し、阿寒地域における住民福祉の向上等を図ります。(対象人口:阿寒地域約4800人)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、道路パトロール車1台を更新し、平成28年度には2月20日納車後27日間のパトロールの中で、災害の未然防止に努めたほか、道路の陥没等の早期発見し補修を行い、事故を未然に防ぐことができました。今後も引き続き、状況に応じたパトロールを行い、地域住民の福祉の向上等を図っていく予定です。(対象人口:阿寒地域約4800人)		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
物件購入		指名競争入札	釧路スバル自動車株式会社	2,793,370
購入にかかる諸経費		随意契約	釧路スバル自動車株式会社	69,310
		計		2,862,680
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
			該当なし	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。